

岐阜県職員倫理憲章 多治見北高等学校実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すため平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり多治見北高等学校実行計画を定めます。

令和6年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法及び教育公務員特例法・教育職員免許法に定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 不正事案の未然防止のため、それぞれの事務処理過程の都度決裁等をおこない、処理過程・経緯を複数の職員で相互に確認し合います。
- 交通安全については、通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、勤務時間外においても飲酒運転は絶対にしない等交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。
- 勤務時間の厳守はもちろん、勤務開始時刻の5分前までには必ず出勤して業務開始に備えます。
- 外部からの苦情等に対しては誠意を持って対処するとともに、保護者、地域の方々には厳に公平・公正を持って対応します。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 事務用品の在庫管理の徹底・再利用の促進による事務用品購入経費の削減、両面コピーや縮小コピーなどの活用によるコピー使用枚数の削減などにより、経費節減を徹底します。
- 職員の時間管理意識の徹底や管理職員による組織マネジメント、職場内での工夫による業務の効率化等により、時間外勤務を縮減します。
- コスト意識を持って効率的に業務を遂行するとともに、生徒に対しても節電や節水等の意識を徹底させます。
- 電気の使用については、電力デマンドデータ結果を周知するなどして、職員一人一人の活動時に要する電気使用に関するコスト意識を高め、電気使用量の削減に努めます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 学校組織マネジメントの展開などに向けて、雑誌、新聞やインターネット等から国や他県の動向などの情報収集を積極的に行い、収集した情報を職員全員で情報共有を図ります。
- 業務に関連した研修会等に積極的に参加して専門的能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達が図れるよう、学校内の緊急連絡網を整備し、適宜情報伝達訓練を行います。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司及び関係機関への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。特に生徒の安全確保に心がけ、危機管理機能の強化を図りながら、安全・安心な学校づくりに努めます。
- 情報セキュリティ事故防止のため、情報セキュリティポリシーについての研修会を実施するとともに、情報セキュリティチェックシートの提出を徹底します。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 日頃から「報告」「連絡」「相談」の徹底を図り、正確な情報の把握・共有に努めます。
- 問題発生時には、緊急連絡網等の活用により全職員への情報伝達を完了し、情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 朝会、職員会議や打ち合わせなどを随時実施し、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図り、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告・連絡・相談を速やかに行います。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 職員は一つ以上の地域活動等（自治会等の地域活動、ボランティア活動等）に積極的に参加し、それを通じて得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務にフィードバックします。
- 事務事業の見直しによる仕事量の削減、内部事務の効率化による業務改革、時間管理意識の徹底などにより、時間外勤務を縮減するとともに、前年度を超える年次休暇等を取得し、県職員が地域活動等に参加しやすい環境づくりに取り組みます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 学校のホームページやマスコミなどあらゆる広報媒体を活用し、学校の事業推進などに関する情報を県民の皆様に適時・的確に提供します。
- 学校運営協議会において学校の方針や運営についてのご意見をいただき、PTAや同窓会、その他地域の方々との対話を重視し、地域との連携を推進するとともに、学校評価や自己点検を踏まえ今後の学校運営につなげていきます。

